

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園・学校番号	2815419
施設名（園名等）	常盤台めぐみ幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

楽器を使った音楽あそびを通し、演奏する楽しさを味わい、音への探求心を深めていく。

<テーマの設定理由>

日頃から音楽あそびでは、どの学年も音色の美しさや面白さに気付いて楽しむ姿が見られる。お世話になっている音楽療法士の先生のお力もお借りして、身近な音楽を通し、知らない楽器にも触れながら、より興味を広げたり、深めたりするためにこのテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

講師を招いた音楽あそび（年10回）

5/12 年長 6/2 年中 6/23 年長 6/30 年中
9/8 年長 9/22 年中 10/6 年少 11/10 年長
11/17 年中 1/26 年少

その他、担任が立てた保育計画の中で、子ども達と一緒に音楽あそびを行うことがある。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

- ・自分たちの保育室ではない部屋に移動することで、音楽あそびへの気持ちの切り替えを目的としている。
- ・1回の人数を12名くらいまでとし、講師・保育者の目が届きやすいように配慮する。
- ・ピアノの周囲に半円状に椅子を並べることで、友達のことも見えるように環境を整える。
- ・前回使用した楽器の音や持ち方、鳴らし方がどのようだったか投げかける。
- ・新しい楽器の音色を予想させる時を持ち、その後、実際に手に取り音を出してみる。

- ・挨拶のピアノの音楽をよく覚えていて、すんなりと講師との音楽あそびに入り込んでいる。
- ・ピアノに合わせて身体を動かすことで、音の強弱や速度を表現した。3歳児は保育者の動きの様子もよく見て真似をする姿が見られる。4～5歳児は音を聞き、自分で動きを判断することができるようになっている。
- ・楽器を使用する際には使ってみたい楽器を選べるように数種類ずつ用意する。その中で譲り合う姿が見られた。
- ・新しい楽器、久しぶりに登場する楽器については保育者が持ち方の確認をし、音色を想像する時を持った。



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・回数を重ねるごとに、特に5歳児は積極的に取り組む姿が見られ、楽器の扱い方も丁寧なっていた。
- ・3学期の発表会の時も、演奏する楽しさを心から感じ、周囲の音もよく聞きながら音を出していた。そのような姿を見た他の学年の子ども達は憧れの気持ちを抱いた様子だった。
- ・楽器を購入したが、全ての楽器を使用できていないので、また来年度も引き続き音楽あそびを通し、音への興味・関心を高めていきたい。
- ・自由あそびの中で、身近な素材を利用し、オリジナルの楽器を作る子もいた。手作り楽器の面白さにも気付かせてあげられるように、保育の中で取り入れていくことで、音の出る仕組みの発見や新たな気づきが生まれるように努めていきたい。